

SONY

ライブプロダクションスイッチャー

XVS-G1



4K **SR Live** **HDR**
for HDR

sony.jp/switcher/

新アーキテクチャー採用の ライブプロダクションスイッチャー

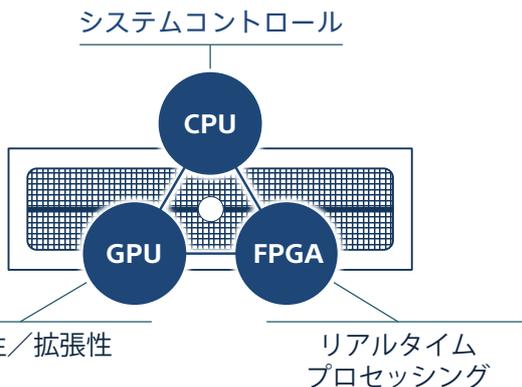
XVS-G1は、新しいアーキテクチャーで設計されたライブプロダクションスイッチャーです。ハードウェア処理による信頼性と安定性を維持しながらソフトウェア処理を活用することで、小型ながら高いパフォーマンスと多彩な新機能、フレキシブルな運用を実現しています。M/Eは分割することもでき、HDでは最大4M/Eとして使用可能、リサイザー対応の16キーヤーは自由にアサインすることができます。オプションのGPUパックを追加することで、クリッププレーヤー、3D DME、新しいマルチビューアー表示などに対応します。

スイッチャー本体にシステムコントロールやデバイスコントロールの機能を内蔵しており、コンパクトにシステムを組むことが可能です。システムを拡張するためのSDI入出力ボードや外部機器とのインターフェースオプション、4Kアップグレードライセンスも用意されており、小中規模のスタジオサブや中継車、イベントの送出システムなど、さまざまなライブ制作システムに対応可能です。

メニューはネットワーク接続したPCまたはタブレットのブラウザーから操作することができ、新たにツリー構造を採用したGUIで、目的のアイテムにすばやくアクセスできます。ICP-X7000シリーズをベースに設計されたコンパクトな一体型コントロールパネルを4機種ラインアップ。システムやスペースに合わせて、1M/Eまたは2M/E、16XPTまたは24XPTから選択できます。

新しい映像処理エンジンで 信頼性・安定性と高速処理を実現

CPU(Central Processing Unit)、GPU(Graphics Processing Unit)、FPGA(Field-Programmable Gate Array)で構成した映像処理エンジンにより、信頼性と安定性を維持しながら、4K信号も高速に処理できる優れたパフォーマンスを実現し、多彩な映像表現を可能にします。



映像処理エンジンのイメージ図

キーヤー/リサイザー、 クリップトランジション

キーヤーはルミナンスキー、リニアキー、クロマキーに対応しており、すべてのキーヤーに2.5D DMEエフェクトを備えたリサイザー機能を搭載しています。HDでは16キーヤー、4Kでは4キーヤー使用できます。

スポーツのリプレイなどでよく使われるクリップトランジションですが、通常のキーヤーとは別にクリップトランジション専用のキーヤーを内蔵しています。M/E列で8キーヤー使用しながら、クリップトランジションを実行することが可能です。

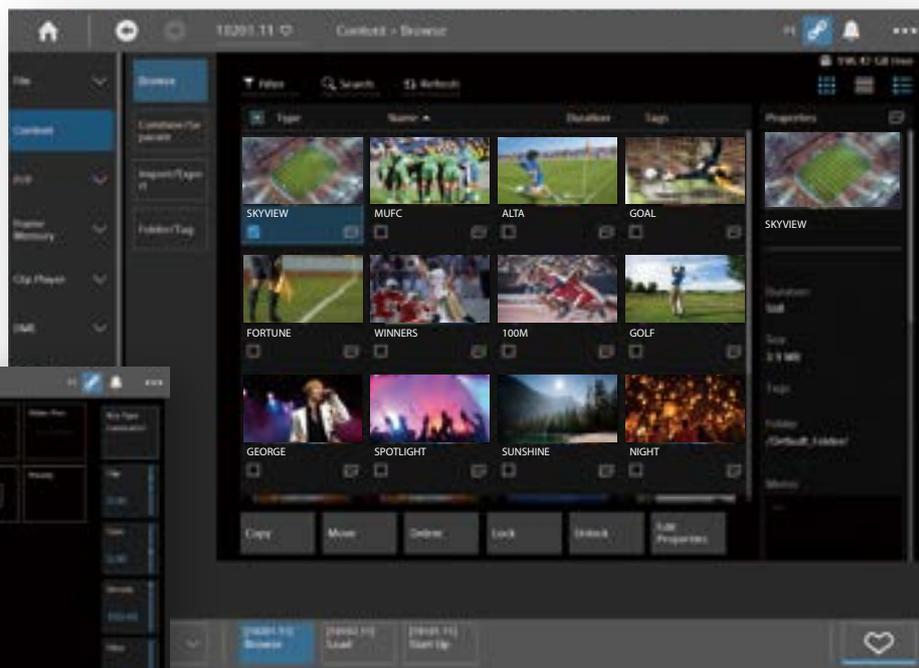
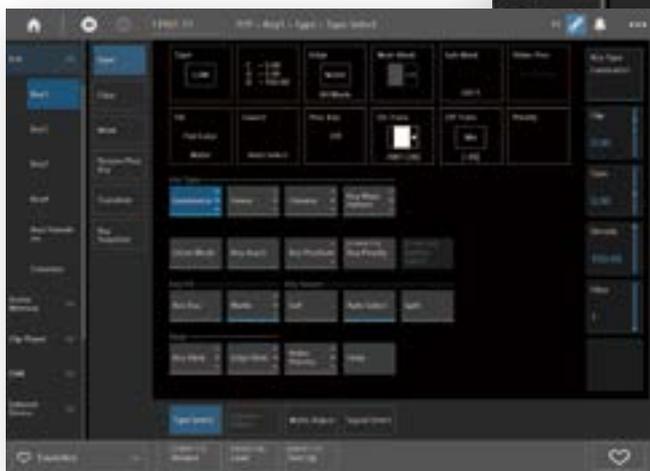


M/E1 出力映像例(HD):8キーヤー + クリップトランジション



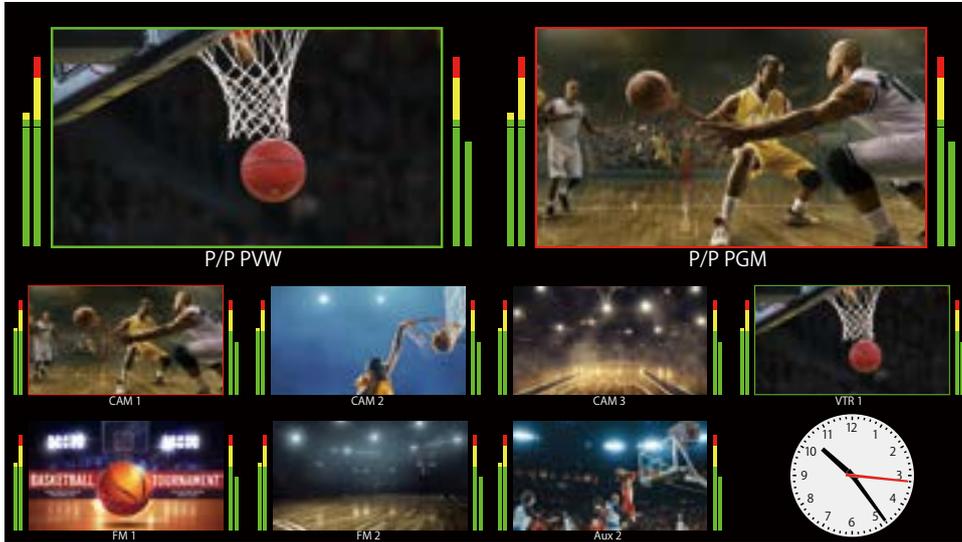
ツリー構造を採用したWebメニュー

メニューは、Wi-FiやLANケーブルを介してPCまたはタブレットのブラウザから操作可能です。新しくデザインされたGUIにはツリー構造を採用しており、目的のアイテムにすばやくアクセスできます。よく使う項目をお気に入りとして登録したり、ファイルをタグ付け管理したりすることもできます。



GPUを活用した新機能 (オプション)

オプションのGPUパックを追加することで、動画ファイルを再生するクリッププレーヤー、画像の回転などさまざまな効果を付加できる3D DME、マルチビューアーへのオーディオレベルメーター/時計表示、キーヤーに追加してロゴなどのキーイングに使用できるSL KEYに対応します。



マルチビューアーの表示例

マルチビューアーへのオーディオレベルメーター/時計表示

マルチビューアーにオーディオレベルメーターや時計を表示することができます。

※ GPUパック XKS-G1600が必要です。

3D DME

DMEを使用して、画像の移動や回転、縮小/拡大などの3次元トランスフォームや特殊効果を付加することができます。

※ GPUパック XKS-G1600、3D DMEライセンス XZS-G1610が必要です。

クリッププレーヤー

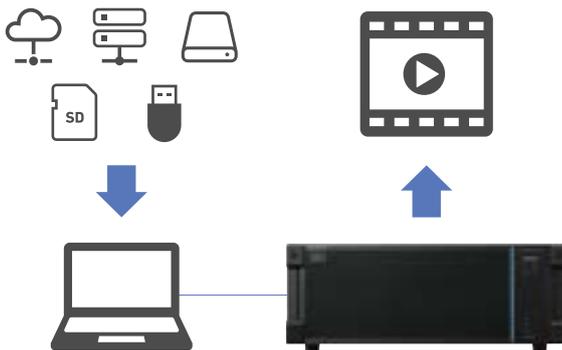
動画素材を再生、出力することができます。AVC/H.264コーデックのMP4またはMOVファイルに対応しています。

※ GPUパック XKS-G1600、クリッププレーヤーライセンス XZS-G1800が必要です。

SL KEY

4KフォーマットやM/E分割時に、1つのM/Eでキーの数が4個以下の場合に、SL KEYをキー5~8に設定できます。キーヤーに追加して、テロップやロゴなどの静止画ファイルをキーイングすることができます。

※ GPUパック XKS-G1600、SL KEYライセンス XZS-G1620が必要です。SL KEYを設定できるM/Eは一つのみ、キータイプはリニアキーのみ、リサイザーは2次元の移動のみ設定可能などの制限事項があります。



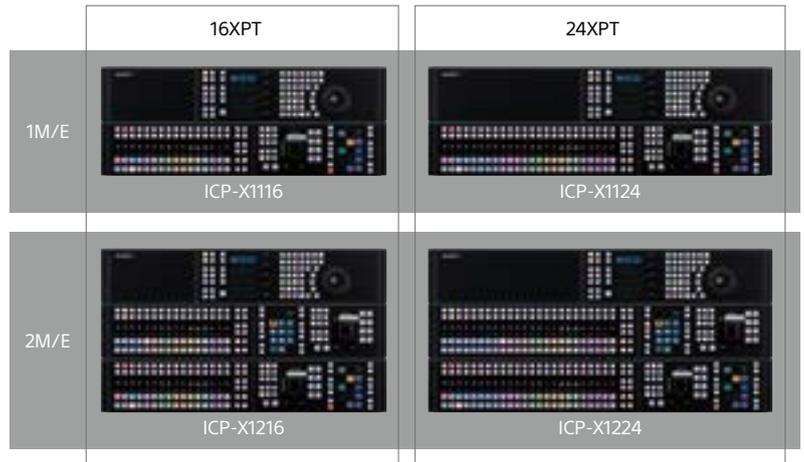
クリッププレーヤー

	HD	4K
キーヤー	16	4
SL KEY	4	4
3D DME	4ch	2ch
フレームメモリー	16ch	6ch
クリッププレーヤー	4ch	2ch
マルチビューアー	2	1

※ 4Kの場合、3D DMEとSL KEYの同時使用はできません。

コントロールパネル

コンパクトな一体型コントロールパネルを4機種ラインアップ。システムやスペースに合わせて、1M/Eまたは2M/E、16XPTまたは24XPTから選択できます。モジュール式のICP-X7000シリーズやラックマウントサイズのコントロールパネル(特注品)も使用可能。XPTボタンのカスタマイズにも対応しています。AUXバスは、リモートコントロールパネルMKS-R3210/R1620やWebメニューから切り替えることも可能です。



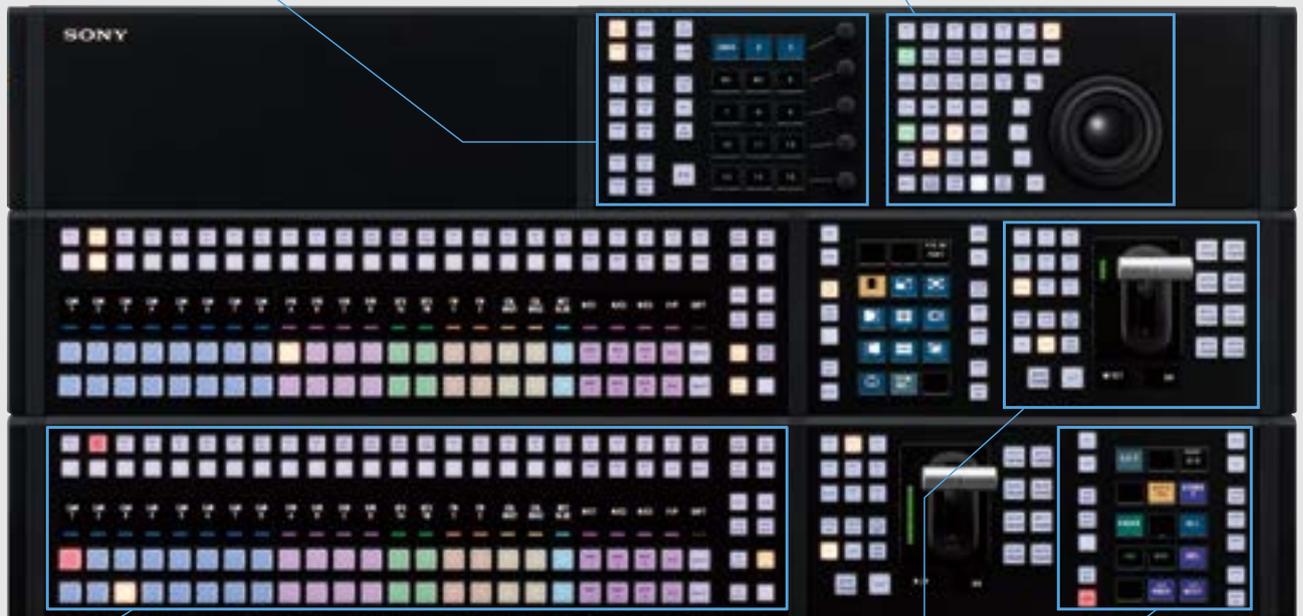
※ XVS-9000/8000/7000/6000とは制御プロトコルが異なります。XVS-G1では、メニューパネル MKS-X7011は使用できません

ユーティリティ/ショットボックス操作部

メモリーリコールボタンに割り付けた機能の実行、エフェクトタイムラインの実行、メニューのパラメーター入力などに使用します。

デバイス操作部

リサイザーやDMEの実行、デバイス/フレームメモリー/クリッププレーヤーの操作、メニューのパラメーター入力などに使用します。



クロスポイント操作部

信号の選択などに使用します。信号名などを表示するディスプレイには有機ELを採用。判別しやすいようにボタンやインジケーターを設定した色に点灯させることができます。

トランジション操作部

トランジションの実行に使用します。通常のトランジションとキー専用トランジションが可能です。トランジション設定部のボタンは、アサインブルになっています。

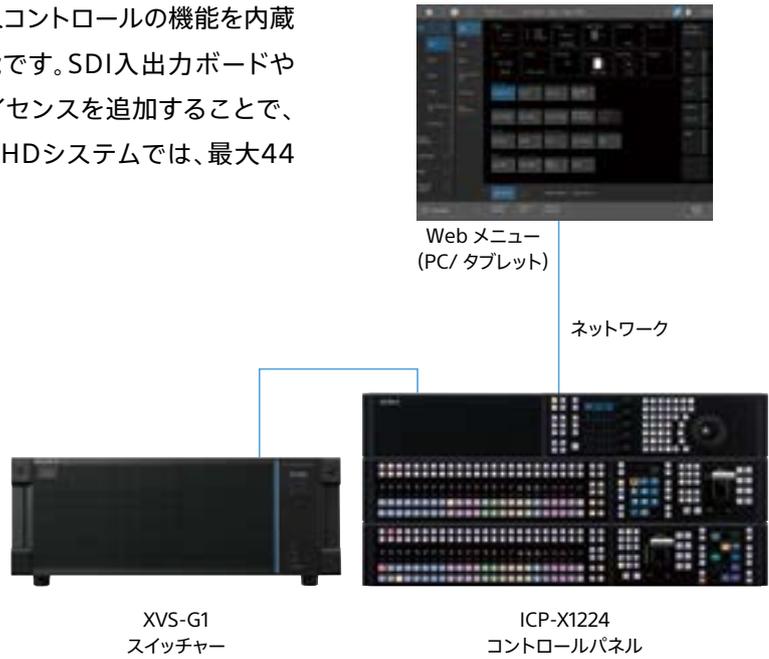
フレキシパッド操作部

スナップショットやマクロの呼び出しと保存、トランジションレートの入力などに使用します。

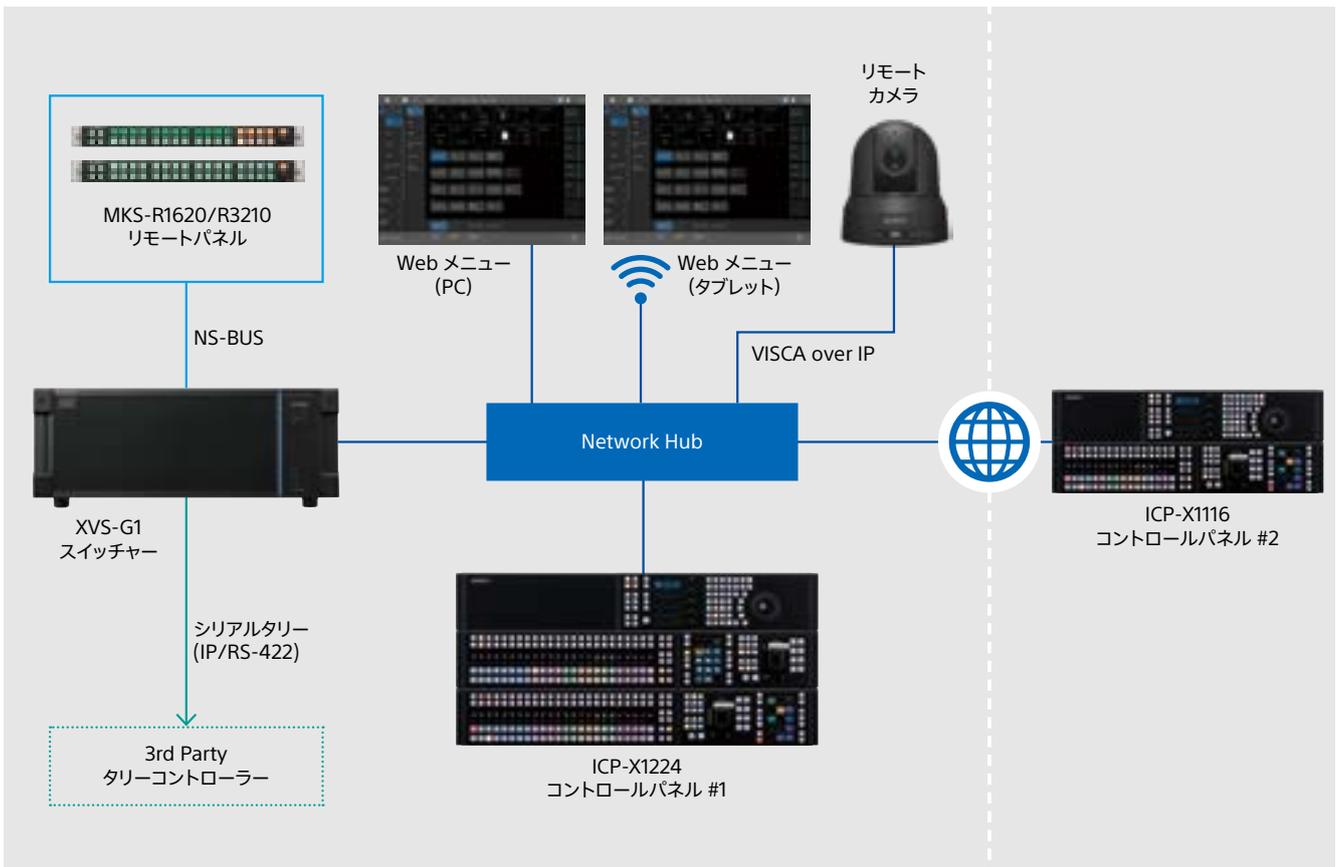
コンパクトな筐体とシステム拡張性

スイッチャー本体にシステムコントロールやデバイスコントロールの機能を内蔵しており、コンパクトにシステムを組むことが可能です。SDI入出力ボードやインターフェースオプション、4Kアップグレードライセンスを追加することで、規模の大きなシステムや4K制作にも対応します。HDシステムでは、最大44入力24出力まで拡張できます。

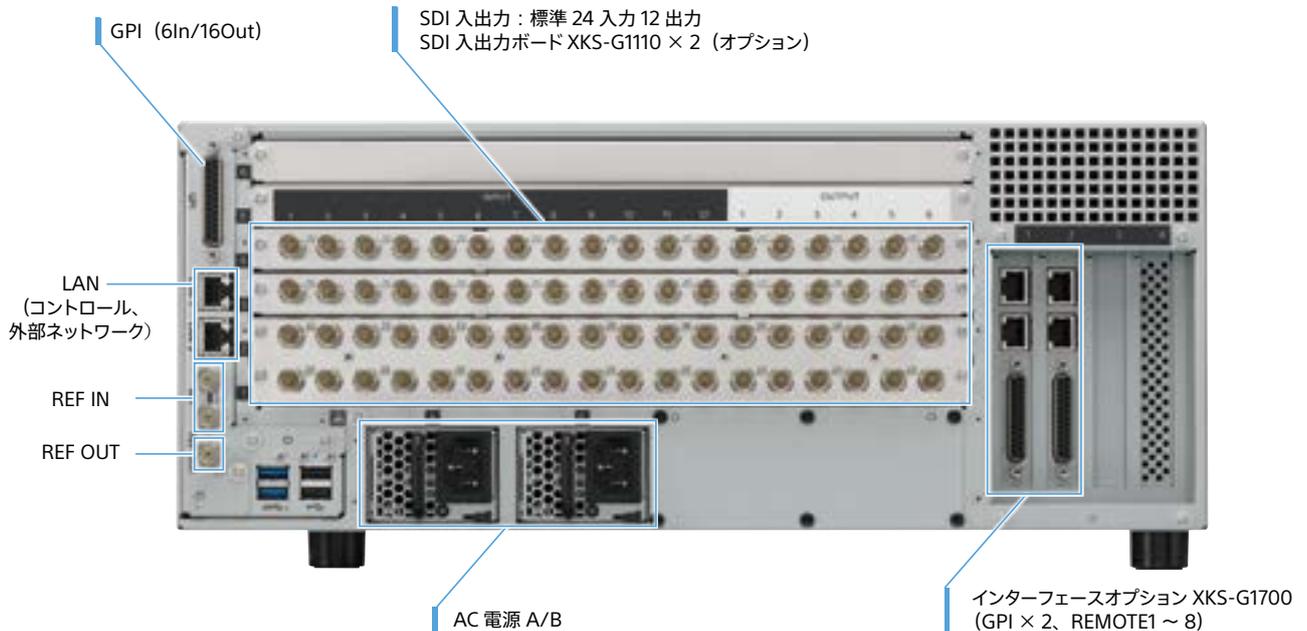
	HD	4K
入力	24 (最大 44)	24
出力	12 (最大 24)	12
M/E	2 (最大 4)	1 (最大 2)



コントロールパネルは2台まで接続することができます。3M/Eに分割して、2M/Eパネルと別の場所にあるもう1台の1M/Eパネルから操作するといった運用も可能です。スイッチャーとの接続は、ローカル接続だけでなく、L3ネットワーク経由でのリモート接続にも対応しています。AUXバスは、リモートパネルMKS-R1620/R3210からコントロールできるほか、メニューからの切り替えも可能です。Webメニューやコントロールパネルから、リモートカメラのプリセットリコールも可能です。Webメニュー端末は最大16台まで接続することができます。



■ 本体背面



■ システム、機能を拡張するオプション

SDI入出力ボード XKS-G1110

3G/HD/SDフォーマットで入出力を拡張するためのオプションボードです。

XVS-G1入出力数 (HD)

標準構成	24入力	12出力
XKS-G1110を1枚追加	36入力	18出力
XKS-G1110を2枚追加	44入力	24出力

4Kアップグレードライセンス XZS-G1500

4Kフォーマットに対応します。

対応フォーマット

3840×2160/59.94p, 50p, 29.97p, 25p, 23.98p

HDRコンバーターライセンス XZS-G1750

HDRコンバーター機能を使用できるようになります。

4Kフォーマットのときに、入出力信号に対してOETFや色域、変換モードなどを設定することができます。入力6ch、出力3chに、HDRコンバーターの設定が可能です。

オートメーションインターフェースライセンス XZS-G1770

オートメーションインターフェースに対応します。

外部のオートメーションシステムから、XVS-G1のコントロールが可能になります。

インターフェースオプション XKS-G1700

GPI入出力端子とリモート端子を拡張するためのオプションボードです。

GPI	D-sub25ピン×2
REMOTE 1/2	RJ-45, RS-422規格準拠
REMOTE 3/4	RJ-45, RS-422規格準拠
REMOTE 5/6	RJ-45, RS-422規格準拠
REMOTE 7/8	RJ-45, RS-422規格準拠

GPI端子は、GPIやタリーの入力/出力ポートとして使用します。REMOTE端子は、VTR、ディスクレコーダー、P-Bus対応機器、タリーコントローラーなどに接続します。



その他アクセサリ

- ・ラックマウントキット: **RMM-1100**
- ・AC電源コード: **DK-2401**
- ・ACアダプター用電源コード 部品番号: 1-846-424-32

■ 主な仕様

XVS-G1

一般	
電源	AC100V ~ 127V、50/60Hz AC200V ~ 240V、50/60Hz
消費電流	7A ~ 5.5A (100V ~ 127V) 3.4A ~ 2.8A (200V ~ 240V)
動作温度	5°C ~ 40°C
保存温度	-20°C ~ +60°C
外形寸法(幅×高さ×奥行)	約 440 × 176 × 583mm (突起部含まず)
質量	約 22kg (全オプション装着時)

ビデオ入出力	
最大入力数 (BNC)	44
最大出力数 (BNC)	24
信号フォーマット	SMPTE ST259-C、ST292、ST424、ST425-1、ST425-5、ST2082-1
信号プロセッシング	4:2:2 デジタルコンポーネント
量子化	12G/3G/HD/SD-SDI:10 ビット

リファレンス	
リファレンス入力	BNC × 2、ループスルー出力付
リファレンス出力	BNC × 1

コントロール	
LAN 1	RJ-45 × 1、1000BASE-T 規格準拠
LAN 2	RJ-45 × 1、1000BASE-T 規格準拠
GPI	D-sub25 ピン (凹) × 1、D-sub25 ピン (凹) × 2 (オプション)
RS-422	RJ-45 × 4 (オプション)

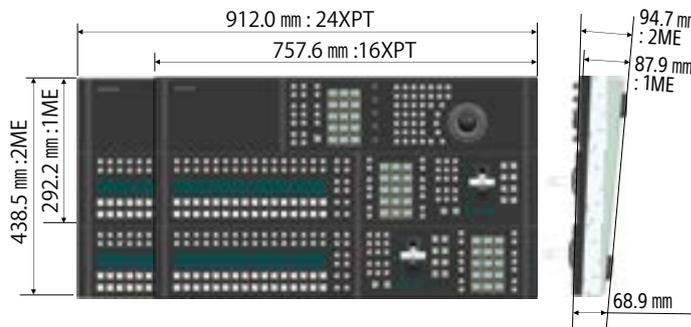
対応フォーマット		
HD	1080/59.94p、50p 1080/59.94i、50i 1080/29.97PsF、25PsF、23.98PsF	
	720/59.94p、50p	
	4K	3840 × 2160/59.94p、50p、29.97p、25p、23.98p

コントロールパネル

一般	
電源	DC19.5V
消費電流	ICP-X1224 : DC2.1A ICP-X1216 : DC1.7A ICP-X1124 : DC1.6A ICP-X1116 : DC1.3A
動作温度	5°C ~ 40°C
保存温度	-20°C ~ +60°C
外形寸法(幅×高さ×奥行)	ICP-X1224 : 約 912.0 × 94.7 × 438.5mm (突起部含まず) ICP-X1216 : 約 757.6 × 94.7 × 438.5mm (突起部含まず) ICP-X1124 : 約 912.0 × 87.9 × 292.2mm (突起部含まず) ICP-X1116 : 約 757.6 × 87.9 × 292.2mm (突起部含まず)
質量	ICP-X1224 : 約 15.0kg ICP-X1216 : 約 13.5kg ICP-X1124 : 約 9.5kg ICP-X1116 : 約 9.0kg

コントロール	
LAN A1	RJ-45 × 1、1000BASE-T 規格準拠
LAN A2	RJ-45 × 1、1000BASE-T 規格準拠
LAN B	RJ-45 × 1、1000BASE-T 規格準拠

■ コントロールパネル外形寸法図



安全に関する注意 商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

カタログ上の注意 ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります ●カタログと実際の色とは印刷の関係で、多少異なる場合もあります **商標について** ●「ソニー」および「SONY」、ならびにソニーの商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは商号です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません

法人のお客様向け
ソニー ウェブサイト

sony.jp/pro/



ソニーマーケティング株式会社 | 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

購入に関するお問い合わせ

業務用商品購入相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-580-730

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

製品に関するお問い合わせ(使い方、故障診断など)

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 050-3754-9550

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

YG/AXYG-1 Printed in Japan. (84981492)

2025.3
カタログ記載内容2025年3月現在
本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用